

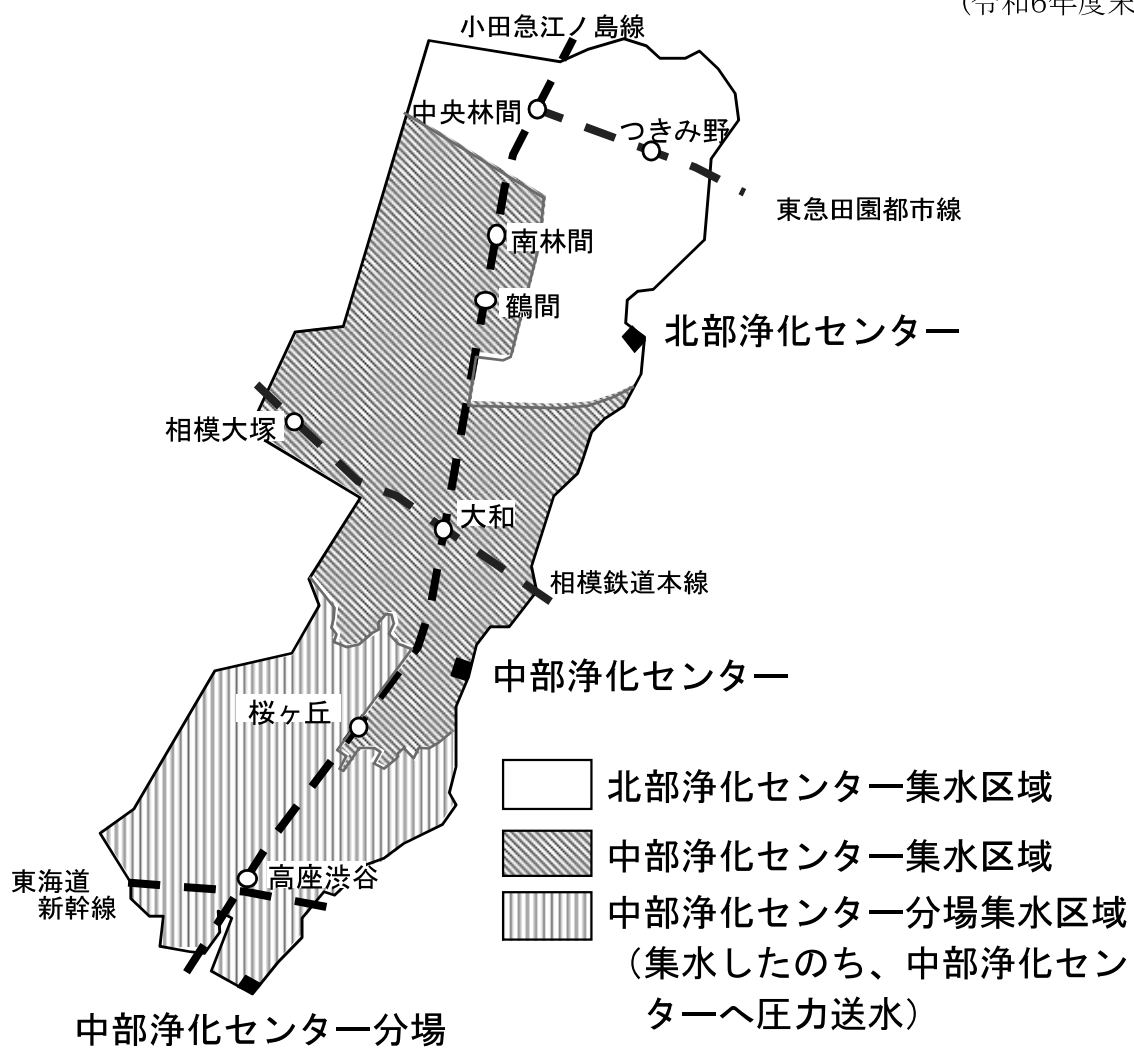
水質管理センター総合編

I 概要

1. 下水道処理区概要

処 理 区	北 部 処 理 区	中 部 処 理 区
(1) 処理場面積(m ²)	35,400	53,280
(2) 水処理能力(m ³ / 日最大)	44,000	59,000
(3) 処理区域面積(ha)	592.75	1,364.93
(4) 水洗化世帯数(世帯)	33,159	84,665
(5) 水洗化人口(人)	71,460	162,749

(令和6年度末)



2. 処理場整備の経過

年 度	整 備 内 容
昭和44年度	中部浄化センターA系供用開始(17,000m ³ /日)
昭和57年度	中部浄化センターB系供用開始(50,000m ³ /日)
昭和63年度	北部浄化センター供用開始(16,000m ³ /日)
平成3年度	中部浄化センター分場供用開始(1-1号幹線完成) 圧送能力(中部浄化センターへ圧送10m ³ /分×3台)
平成4年度	北部浄化センター汚泥焼却1号炉完成(50t/日) 北部浄化センター水処理施設増設(30,000m ³ /日)
平成8年度	北部浄化センター汚泥焼却2号炉完成(50t/日)
平成9年度	北部浄化センター水処理施設完成(44,000m ³ /日)
平成15年度	中部浄化センター新A系水処理施設完成(9,000m ³ /日)
平成17年度	中部浄化センター分場圧送1-2号幹線完成
平成17年度	北部浄化センター汚泥焼却1号炉改築更新(50t/日→60t/日)
平成19年度	中部浄化センター分場酸素発生機完成(28Nm ³ /時)
平成25年度	中部浄化センター雨水滯水池沈砂池棟完成

3. 包括的民間委託概要

北部浄化センター、中部浄化センター及び中部浄化センター分場では、維持管理の効率化を図るために、施設の運転管理、ユーティリティの管理、建物管理等の付帯業務、軽微な補修業務等を民間事業者へ委託する「包括的民間委託」を導入している。

(1) 北部浄化センター

供用開始	昭和63年12月～
第1期	平成23年10月～平成28年9月(5年)
第2期	平成28年10月～令和3年9月(5年)
第3期	令和3年10月～令和8年9月(5年)

(2) 中部浄化センター及び中部浄化センター分場

供用開始	昭和44年4月～(中部)、平成3年8月～(分場)
第1期	平成19年5月～平成22年3月(2年11か月)
第2期	平成22年4月～平成26年6月(4年3か月)
第3期	平成26年7月～令和元年6月(5年)
第4期	令和元年7月～令和5年9月(4年3か月)
繋ぎ (入札不調の為)	令和5年10月～令和5年12月(3か月)
第5期	令和6年1月～令和8年9月(2年9か月)

【参考】性能発注における包括的民間委託レベル

レベル1	民間事業者が施設を適切に運転し、「一定の要求水準(性能要件)を満足する条件で、下水処理場の運転・維持管理について民間事業者(受託者)の裁量に任せる」という性能発注の考え方に基づく委託
レベル2	レベル1に加え、ユーティリティの調達及び管理を含めた委託
レベル2.5	レベル2に加え、1件当たりの金額が一定以下の修繕を含めた委託
レベル3	レベル2に加え、資本的支出に該当しない下水道施設の修繕計画の策定・実施を含めた委託

注1: 北部浄化センター、中部浄化センター及び中部浄化センター分場はレベル2.5を採用

4. 流入下水量の内訳

流入下水量の内訳(年間)		
家事用 (m ³)	事業用 (m ³)	計 (m ³)
19,953,871	4,410,894	24,364,765

注1: 水量は下水道使用料の汚水種類別調定状況による

5. 下水処理費(北部・中部合計)

(千円)

維持管理費計			2,363,262
内訳	人件費		115,237
	電力費		347,661
	運転管理委託費		879,683
	汚泥処分費	直営	183,353
		委託	
	修繕費	直営	624,442
		委託	45,657
	薬品費		107,733
	燃料費		280
	水質測定経費	直営	20,336
		委託	
	その他	直営	38,879
		委託	

(円/m³)

処理単価	94
------	----

注1: 消費税及び地方消費税込みの見込み数値